



みんなが安心して 暮らせるみどり豊かな 「やまがた」のために

～やまがた緑環境税（仮称）の創設について～

次の世代を担う子どもたちへ 未来に誇れる「やまがた」

私たちが暮らすこの山形県は、秀麗な山々に囲まれ、母なる川「最上川」に沿って豊かな田園風景が広がる、美しい自然に恵まれた地域です。

そのなかでも森林は、県土面積の約72%を占め、私たちが生活している平野や盆地を包み込むように分布し、この素晴らしいやまがたの環境を支えています。

しかし近年、手入れがなされず管理が放棄されたり、長期間利用されずに放置される森林が増加し、このままでは県民の生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。このことを私たち県民一人ひとりが、自ら直接関わる問題として捉え、森づくりや自然環境を支えていくことが必要な時期に来ています。

やまがたの豊かなみどりを、かけがえのない財産として未来へ引き継ぐために、県では「県民みんなで支える新たな森づくり」に取り組むとともに、その財源として、やまがた緑環境税（仮称）の創設を検討しています。